

鷺宮小学校・西中野小学校統合委員会 要点記録

第 19 回

開催日時	令和5年5月11日(木) 午後6時30分～8時26分	
開催場所	鷺宮小学校	
出席者	委員	高橋洋雄、宮内信子、田村邦彦、野方恵一、早船角雄、秋山芳三、内野浩二郎、山口博史、堀井裕子、黒木伸子、安田秀美、高橋俊之、高橋明、大木美香、渡邊健治、藤永益次 (敬称略、名簿順)
	事務局	学校再編・地域連携係
	その他	子ども教育施設整備係
会議次第	【議事】 1 (仮称) 鷺の杜小学校の校章について 2 (仮称) 鷺の杜小学校の校歌について	

第19回 鷺宮小学校・西中野小学校統合委員会 会議要旨

1 開会

委員長

これより第19回学校統合委員会を開催する。本日、傍聴希望者がいるが、傍聴についてこれを許可してよろしいか。

—異議なし—

委員長

傍聴者は、傍聴券の裏側に記述されている注意事項を守り、議事の進行を妨げないように願います。

2 議事

議事(1) (仮称) 鷺の杜小学校の校章について


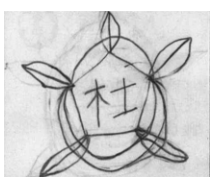

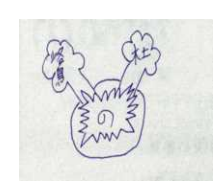
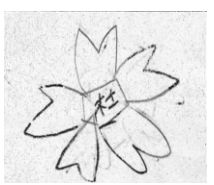
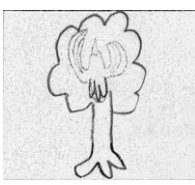






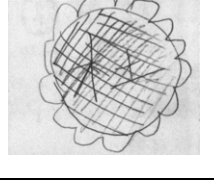

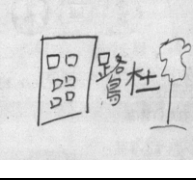
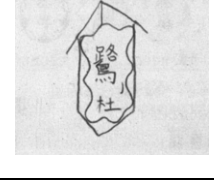
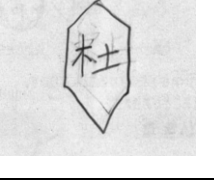

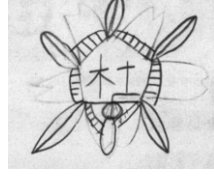


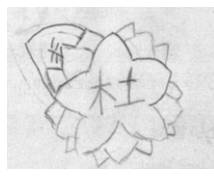
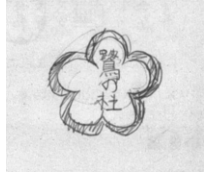

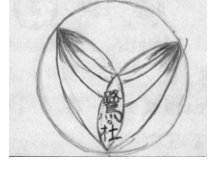

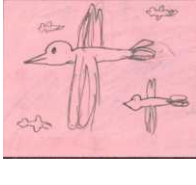
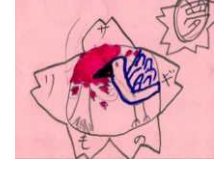


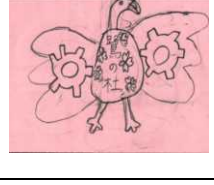

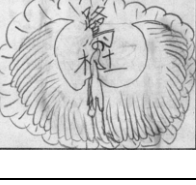









委員長







(仮称) 鷺の杜小学校の校章について、事務局の説明を求める。

事務局

■資料「(仮称) 鷺の杜小学校の校章デザインの募集結果について」、事務局から説明

- 1 募集期間 令和5年(2023年)3月15日(水)～4月18日(火)
- 2 応募用紙の配布及び応募箱の設置場所
鷺宮小学校、西中野小学校、鷺宮児童館・西中野児童館、鷺宮区民活動センター、鷺宮すこやか福祉センター
- 3 応募総数105点(件数: 応募箱85、メール19、郵送1)

1	2	3	4	5	6
					
7	8	9	10	11	12
					
13	14	15	16	17	18
					
19	20	21	22	23	24
					
25	26	27	28	29	30
					
31	32	33	34	35	36
					
37	38	39	40	41	42
					

43	44	45	46	47	48
					
49	50	51	52	53	54
					
55	56	57	58	59	60
					
61	62	63	64	65	66
					
67	68	69	70	71	72
					
73	74	75	76	77	78
					
79	80	81	82	83	84
					

85	86	87	88	89	90
91	92	93	94	95	96
97	98	99	100	101	102
103	104	105			

事務局

本日は、応募作品105点の中から5点程度に絞っていただきたい。今回の協議で選定した候補については、デザイン業者にデジタル化及びアレンジ版の作成を依頼する。次回の統合委員会において、デジタル化及びアレンジしたものの中から基本となるデザイン一点を決定する。

委員長

では、まず応募されたデザインやその説明を見た感想などについて、順番に発言をお願いします。

委員

校章に「杜」という字は入れず、鷺だけのほうが良いのではないかな。

委員

手描きのもとの、専門家がつくったようなデジタル化されたものがあるが、手描きのものでデジタル化したら、見栄えが変わってくるのではないかな。

事務局

申し訳ないが、予算の都合上、デジタル化は5点程度までしかできない。

副委員長

デザインを見て、デジタル化したら良いと思うものを選んでもらえれば良いだろう。

委員

鷺を入れるのか、杜まで入れるのか、または図柄だけにするかなど考えていきたい。

委員

105点も応募があり、大変うれしい。最終的には一つに絞らなければならないので、多数決で決めることになると思うが、責任を持って決めたい。

委員

新しい時代や新校に合ったものを選びたいので、現在の西中野小学校と鷺宮小学校の校章に近いものは、外したい。皆が良いと思うものを挙げて、そこから絞っていく形で良い。

委員

児童館で子どもたちが一生懸命描いていたので、その子どもたちの思いが入っていると思う。自分が気に入ったものを選びたいと思うが、大変責任を感じる

委員

予算がもったいないので、手書きのもののみデジタル化してもらい、デジタル化されたものはそのままでも良いのではないかと。デジタル化されたものも業者に依頼したら、何か変わるのか。

事務局

きれいに線が描かれデザイン画になっているものは、恐らくデジタル化ではほとんど変わらないと思うが、白黒を反転させたり、校章に合ったデザインへとアレンジをしてもらう。

委員

予算的に5点までということだが、5点が手書きで6点目がデジタル化のものであれば良いか。

事務局

デジタル化しなくても、アレンジできないものが出てきてしまうこともある。できれば5点程度におさめていただきたい。

委員

新しい学校というイメージの校章が良いので、前の学校をイメージするようなものはデザインが良くても選ばない。校章の由来を付ける際には、書かれている説明が生かされるのか。

事務局

校名同様、校章も由来を付けるが、この説明を膨らませて、意味合いを添えることはある。

委員長

校名を決めるときにも話が出ていたように、鷺宮小学校と西中野小学校2校の校章を引き継ぐようなものではないほうが良いだろう。

委員

2つの学校が統合するイメージではなく、新しい学校という発想でデザインされたものが良い。鷺だけだと、鷺の杜小学校は「鷺小」と呼ぶことになってしまい、新校らしくないので、鷺と杜を入れるか、文字を抜くかしたらいいと思う。

委員

多くの子どもたちが描いてくれた。全部選ばなくても、子どもたちがこういう思いやイメージを持っているのだという参考になったのではないかと。ちなみにできあがりには白黒か。最終的に着色するということはあり得るか。

事務局

白黒である。

委員長

参考までに、これまでの統合委員会での校章の選定方法について事務局から教えてほしい。

事務局

これまでも、両校の特徴的なものを取り入れたほうが良いなど色々な意見があったが、ほとんどの統合委員会で新しい学校という発想で選定した。選定方法は、考え方は統一せずに投票したり、新しいものだけに絞るなど考え方を統一してから選んだり、統合委員会ごとに異なる。また、校章の説明がないものの扱いをどうするかなど検討していた。

委員

校名を考えたときも、全員の意見を統一させるのは難しく、自分の中で納得できなかったところもあったので、今回は最初から意見の統一は目指さず投票で良いのではないかと。

委員

私も同意見で、皆さん色々な考えがあるので、投票数だけ協議し、投票後、選ばれたものを見

てから、考えるほうがいいのではないかと思う。

副委員長

では1人何票投票するか。

事務局

これまでの学校では大体、3つから5つ程度だった。

委員

最終候補が最大5つだが、3つずつ選ぶと、3票が8つなどという可能性もある。3票だと少ないので、5票ぐらい投票して、結果を見てみたら良いのではないか。

委員長

では5票以内ということで皆さんよろしいか。

—異議なし—

委員

校名を選ぶときに同名の企業名などについてチェックしていたので、今回も候補を絞った段階で、事前に類似デザインがないかなど意匠についてチェックしていただきたい。

委員

すぐ分かるものなのか。

委員

画像検索すれば分かる。

委員

デジタル化されて、インターネット上に載っているものであれば検索できる。手描きのものは難しいかもしれないが、投票で選ばれてデジタル化されればできるかもしれない。

委員長

では事務局から投票用紙を配付する。

—投票・集計—

委員長

事務局から結果を発表する。

事務局

番号順に票が入ったものを上げる。20番2票、23番1票、25番1票、26番1票、30番1票、34番2票、35番4票、36番5票、37番4票、38番2票、39番1票、41番1票、50番1票、51番2票、54番3票、55番1票、57番1票、60番2票、61番2票、73番2票、80番1票、81番1票、83番2票、84番6票、86番1票、89番7票、90番2票、91番2票、93番1票、97番1票、98番1票、102番1票、105番6票である。一応、上位を上げると、一番多い7票が89番、6票が84番と105番、5票が36番、4票が35番と37番。以上が上位6つである。

委員長

35と37が同票である。

副委員長

もう1回投票するか。

事務局

選ばれたものが、両校をイメージしたものなのか、新しいものをイメージしたもののかなど、説明のところも確認したほうがいい。

委員

上位6つで5つには絞れなかったが、4票以上入ったものとして6つ残してはどうか。84番は6票入っているが、企業のロゴに似ていると思われることもあるだろう。意匠の件で、それがどの程度大丈夫なのか、専門の方などに見てもらってから絞っても良いのではないか。

事務局

今、4票以上のものを説明したが、3票、2票入ったものもある。1票のものは除くか、両校のものが入っているものはどうするか、校名を入れるのか入れないのかなどの議論を、作品の説明

も見ながらしていただきたい。

委員

それも含め、投票するとなったのではないか。

事務局

1回目は意見の統一はせず投票したが、投票により絞られたので、出てきたものをどうするか話し合いをしたらどうか。確かに他のデザインと似ているものもあるので、もし今、気になるものがあれば、そういった意見も出していただきたい。

委員

似ているからと言って切るのではなく、皆さんが良いというものであれば、意匠などについて調べ、その結果、問題ないのであれば、それをデザインしてもらってもいいのではないか。

委員

作品の説明がある資料と、校章だけの資料とで、縦横の幅が異なるが、どちらが正しいのか。

事務局

校章だけの資料は、デザインだけを並べて見られたほうがいいのではないかと思います。縦長になってしまっているものがあり、申し訳ない。選ぶときには、作品の説明も載っている資料の方が正しい形なので、そちらを見ながら協議いただきたい。

委員

作品の説明はもちろん大事だが、校章は見た目の印象が大事だと思うので、単純に上位の6つもしくは4票の2つを決選投票して決めたらいいのではないか。5つに絞って、意匠を調べたら駄目で4候補になってしまったというのは残念なので、そこは協議したらいいのではないか。

委員

意匠の問題で、何かあると訴えられたり、使ってはいけないとなるのか。こちらで調べて似ているから使用をやめるのか、相手から言われて駄目だとなるのか。

委員

公共の学校が権利を侵害する可能性があるのは良くないので調べるのが一番だが、知的財産権には意匠権や商標権があり、それぞれどういった申請をして権利を得ているかで異なる。例えば自動車会社のマークだったら、自動車産業には使ってもらいたくないが、他の全く関係ない産業だったら良いということもあり、調べてみないと分からない。

委員

運営委員会でも、画像を広報誌で使用し訴えられてお金を払ったケースがあった。これももし、どこから持ってきていたら、訴えられるなどトラブルになる可能性があるということか。

委員

そうである。

委員

それを調べるのも結構大変であり、どうしたら完璧になるのか分からない。時間をかけて調べないと分からないということか。

委員

意匠に関しては、それなりに時間はかかる。

委員

行政としてできるだけ商品のロゴの似ているものなどは避けるべきだろう。調べ尽くすというのは無理かもしれないが。

委員

私たち素人が調べられることではなく、デザイン事務所の方が詳しいかもしれない。似ているものはデザイナーがアレンジして違うものにつくり上げることも可能かもしれない。そこは事務局で確認していただくとし、今回は上位6つを候補とするということでもいいのではないか。

副委員長

すでにデジタルで作成されたものはデジタル化を依頼しなくていいと思うので、6つでも予算

に収まるのではないか。

事務局

デジタル化の作業が省ければ、6つまででも良いかもしれないが、アレンジ版の作成もあるので、優先順位は決めていただきたい。補足だが、37の由来に「鷺宮と白鷺の二つの地域」と書いてあるが、学区域には若宮も入っている。

委員

由来は結構大事だと思う。

委員

先ほど企業ロゴと似ていると言われたものも、票数が多いからと優先的に入れてしまうのか。

委員長

事務局のほうで意匠について調べられるか。

事務局

こちらインターネットで画像検索するしかない。あとは、デザイン業者に、これに近い形でアレンジができないか依頼することしかできない。それか、もう除くと決めていただいても良い。

委員

35か37で優先順位を決めておき、業者からもし5つまでと言われたら、優先順位が低いほうはなしにするという事務局の案でいいと思う。

委員長

では35と37のどちらを優先するか、挙手で決めるということで良いか。

—異議なし—

委員長

では、35が良いと思う方は、挙手をお願いします。

—挙手多数—

委員長

では、35を優先とする。

—異議なし—

議事(2) (仮称)鷺の杜小学校の校歌について

委員長

次に、(仮称)鷺の杜小学校の校歌について、事務局から説明を求める。

事務局

■資料2「校歌に入れたい言葉の募集結果について」事務局より説明

1 募集期間 令和5年(2023年)3月15日(水)~4月18日(火)

2 応募用紙の配布及び応募箱の設置場所

鷺宮小学校、西中野小学校、鷺宮児童館・西中野児童館、鷺宮区民活動センター、鷺宮すこやか福祉センター

3 応募総数 243種類(件数:応募箱90、メール6)

	校歌の歌詞に入れたい言葉等(単語・フレーズ)
あ	明るく 明るい笑顔 <u>あかるく</u> あたたく守る あたらしい気持ち あかるく楽しく元気よく <u>あそんでいる</u> <u>あい(3)</u> 青い 愛 <u>あきらめない</u> <u>朝日に</u> 明るい(2) あたたかい杜 <u>あすに羽ばたけ</u> <u>あすに向かって</u> <u>あすを信じて</u> <u>ありがとう(2)</u> 青い空 青い海 <u>愛と誠と剛健</u>
い	稲 生きる力 <u>いつまでもわすれずに</u> 命を守る子どもたち 生命かがやく鷺の杜 <u>いのち</u> <u>行こう</u> <u>いこうすすもう栄えある我ら</u>
う	うたに心をこめて 美しい(2) うれしい 歌うお日さま 美しい心

え	笑顔 (4) えがお (3) えがおは消さないで 永遠へ
お	思い 教え合う 大空 おだやかに 思いやり 大きくなる 大きく羽ばたく
か	かがやく がんばろう 川 がんばる 家族を大事にする子どもたち 活気あふれる かつこいい かしこく
き	希望 (7) 木 きぼう (2) 協力 きよく きぼうを乗せ 気持ち (2) きれいな心 絆
く	雲の上 ぐんぐん 群青
け	元気 (8) 元気な小学生 元気に 元気な 元気いっぱいがんばろう
こ	心 (2) ごうけん (3) この旗を胸に この大空に飛び立て 子どもたちの杜となり 子どもたちを未来へ送っていく これから 心とあい こころ豊かに ここに集おう
さ	さくら (2) 桜が散るころには さぎのみり (2) さぎのみやしょうがっこう 鷺が集いしその杜に さあ行こう 鷺の杜 (18) 鷺ノ宮 (3) 鷺 (6) 鷺宮 (5) さあレッツゴー 鷺の杜小学校 (2) 鷺の舞う 鷺のように羽ばたく ささえ合い 清き (さやけき) 鷺の杜の子どもたち
し	白鷺 (4) しあわせ (2) 幸せ (2) 自然がたくさん 自然ゆたか 自然を愛する子どもたち 自由へと 新緑 自由 自律 自然
す	ずっと ずっとつづきますように 水車 (2) 末永く すみか すてきな小学校 すこやかに すんだ空気 進もう
せ	全力 (4) せせらぎ 成長 (2) 世界にはばたけ 誠実
そ	空 (4) 空にまいあがれ 空を舞う
た	たくましく 楽しい友だち 楽しい (5) 田や川 たのしい (3) たんぼ (3) 楽しい毎日が続くように 大切にしよう 力みなぎる鷺の杜 種を蒔く
つ	つよい つばさ 維ぐ
て	伝統 寺子屋の灯 天高く飛んでゆけ 手と手をつないで てがみ
と	ともだち 友 どこまでもつづく青い空 東京 飛びはばたく力 統合校 どンドン
な	中野 (3) 中野の空 なかま なかよし (4) なつかしき思い出 なでしこ (3) 仲よく なつ 長く続く 中野の西 (2)
に	西中野 (4) 西 にこにこみんな 二校の意志ををひきつぎ にじ
の	のびのびと
は	はばたけ (5) 羽ばたく (5) 花 羽ばたけ はばたく (3) 橋 はばたけ君よ 育む
ひ	ひかり 一つしかない命 光 (3) 広い心 広がる 陽 ひとみ 日頃のびゆく
ふ	富士山 富士山見える 富士 (3)
へ	へいわな 平和 (2) 平和へと
ほ	他の人の役に立つ子どもたち 誇り
ま	学び 誠の愛 誠の心 学びの杜 (3) まこと (3) まいにち 舞う (2) まほろば 誠 学び舎

み	未来(3) 未来へ羽ばたく <u>みんな(4)</u> <u>みんな仲よし</u> 未来輝く みんなと仲良く(3) 緑豊かな(2) 皆、きれいに育つだろう <u>みどり</u> みんなで 緑あかるい 緑豊かな学び舎で 道標 <u>緑(3)</u> <u>みょうしょうじがわ</u>
む	<u>むさしの</u> <u>武蔵野</u> 武蔵野の大地
め	恵まれた
も	杜(6) 森 目標
や	やさしい(4) やさしい小学生 やさしい心 やさしい心を持ち やさしく
ゆ	勇氣(2) <u>夢(2)</u> ゆめのせかいへ 友情 豊か(2) ゆめでえがけば ゆめみるジャンプ
よ	よろこび
り	律する
る	るんるん
わ	わすれないで 我らが鷺の杜 我らは進む <u>われら</u> 若さあふれる鷺の杜 我らは悪に負けない子どもたち <u>若き生命はのびていく</u>

※()内表記は複数応募のあった言葉(単語・フレーズ)

※下線のあるものは、現在両校の校歌で使用されている言葉(同じ読みの漢字・ひらがな含む)

事務局

募集結果は、校歌制作者に参考としてお渡しするが、制作者に渡すに当たって、一覧の中で除いたほうが良い言葉や修正したほうが良い言葉があるかなどについて協議をお願いしたい。

委員長

今の説明について、何か質問・意見はあるか。

委員

「愛と誠と剛健」「すんだ空気」「若き命はのびていく」などは鷺宮小学校や西中野小学校のイメージが強いので省いたほうが良いと思う。単語としての名詞や形容詞なら良いが。

委員

「誠の愛」も鷺宮小学校を連想させる。鷺宮小学校が当初寺子屋だったので「寺子屋」や、鷺宮小学校の花「なでしこ」も除いたほうが良いのではないか。地域を連想する「若宮」や「白鷺」「鷺宮」「鷺ノ宮」「中野の西」や「我らは悪に負けない子どもたち」も外したほうが良い。校名の由来からイメージして、もっと新校らしいイメージの校歌としたい。

委員

鷺宮小学校の校歌には教育目標でもある「愛」と「誠」と「剛健」が入っているが、校歌と、学校の教育目標のようなものを連携させることはできるのか。

事務局

校歌は、近いうちに制作者に依頼し、制作に入るので、新校の教育目標と合わせるのは難しいかもしれない。制作者には、全部使うよう依頼するのではなく、使える言葉をピックアップしてもらうので、今日はどうしても外したほうが良い言葉や入れて欲しい言葉について検討いただきたい。

委員

「鷺の杜」という校名は入れてほしい。校名の由来に、緑豊かだったことや鷺がいたこと、羽ばたくなどの言葉があり、このイメージが強いので、この由来に沿ったものが良いと思う。

副委員長

「統合校」はいらないと思う。

委員

「家族を大事にする子どもたち」は家族の概念が1人1人違うので、省いても良いと思う。
「二校の意志をひきつぎ」も統合校というイメージであるし、「他の人の役に立つ子どもたち」
や「我らは悪に負けない」も具体的過ぎたり、強過ぎるイメージなので省いてほしい。

委員

各自が挙げている入れたくない言葉を、削るのか決めるのも大変だが、どうやって決めるか。
ピックアップして、多数決などで確認するか。

委員

省く言葉ではなく、入れたい言葉を絞るのでは駄目なのか。個人の感想で、これを書いた子どもたちや保護者の思いが省かれるのは良くない。時間的にも、1つずつ削っていくよりも、ぜひ入れたい言葉を出す時間のほうが少なく済むと思う。

委員

質問だが、歌詞は1つだけなのか。それとも3つぐらい作ってもらい、そこから選ぶのか。

事務局

1つである。制作を依頼したら、令和6年1月に納品されて初めて見るという形になる。

委員

言葉を絞ると作りにくいと思うので、もう少し制作者の感性に任せたらどうか。

委員

統合委員会として、どういう思いを作者に伝えるかだと思う。皆さんで、拳がってきたものを全部渡すとするのであればそういう判断もある。でも、統合委員会としては、このイメージで作って欲しいという伝え方はできると思う。言葉を全て渡した上で、校名は入れてほしいなど何点か指示をすることはできるのではないかな。

委員

応募された言葉は、全部預けても良いと思う。ただ、どちらかの学校を強くイメージするものは入れたくないという統合委員会の思いや、地域の方がこの地をとて愛しているということ、併せて、子どもたちがこれから社会に羽ばたいていくということや、新しい時代をつくる子どもたちであってほしいというイメージを伝えて、作っていただいたら良いのではないかな。

委員

私も曲を作るが、ある程度、相手の人がどういうものを作りたいかというイメージは伝えてほしい。あんまり羅列し過ぎてても、どれが大事なのか分からないので、これを全部渡すとしたら、例えば校名の由来なども渡し、特に学校名は入れてほしいなどの希望を伝えれば良いのではないかな。少し省きたい気持ちもあるが、選ぶのが難しい。

委員

校名の由来をベースに、皆さんのイメージとして応募された言葉をお渡しすれば、プロなので制作できるのではないかな。

事務局

特に出ているものを絞らずということによろしいか。

委員

私としては、今の校歌にあるものは、フレーズとして使わないでほしい。

副委員長

そういったものは下線が引かれているのでわかるのではないかな。

委員

作曲家・作詞家に言葉を渡すうえで、どういう学校に子どもたちに通ってほしいのかを統合委員会で話をしないといけないと思う。こういう子どもに育ててほしいという新校の校訓を校歌に入れられたらすごく分かりやすいが、校訓ができる前に、校歌を考えなくてはならない。制作者の中には、統合したから2つを合わせて作ってみようという人もいるかもしれないので、そこは我々が「こういうイメージでつくってほしい」と強く言わないといけない。出来上がったものに対して、何でこうなったのだらうというのは、一番避けなければいけないので、言うべきところ

は、全然言っていないと思う。統合委員会として新校に対してこういう学校であってほしいという思いを伝えるのに、校名の由来は1つのヒントだと思う。

委員

校名の由来を伝え、鷺宮小学校や西中野小学校を引っ張ってくるのではなく、新しい学校なので、両校の校歌にあるフレーズを入れることは考えていないというのを制作者に伝えれば、このまま渡しても、「愛と誠と剛健」などが入ってくることはないだろうとは思う。

委員

ちなみに、完成したものに對し、この言葉は変えて欲しいなどとは言えないのか。

事務局

制作者にもよる。作ったものをご確認くださいと言われ、皆さんで聴いてフレーズを直したことはある。ただ、ほとんどはそのまま納品いただいている。作詞家としては、一部を直すと、全体が崩れて時間がかかってしまうということもあるので、お任せしている。

では制作者への依頼についての再確認だが、応募された言葉は全てお渡しし、その上で、校名の由来をもとに制作してほしいこと、両校の校歌に使われているフレーズは使わないでほしいこと、新しい学校をイメージして制作して欲しいこと、を伝えて依頼するというところでよいか。

—異議なし—

事務局

■資料3「校歌制作者の候補について」を事務局より説明

校歌制作者候補については、委員から3名の推薦があった。前回、校歌制作者は、最終的には学校と委員長、副委員長と事務局に一任いただくということで確認いただいたので、3名の候補者について学校と委員長と副委員長と事務局で検討した。その結果、校歌や児童向けの歌の制作経験が豊富であることから、若松欽氏を第一候補として交渉を進めることになった。作詞家については、若松氏に相談のうえ決定する。交渉結果は、次回の統合委員会で報告する。

委員長

今の説明について、何か質問・意見はあるか。

—意見なし—

3 その他

その他(1)卒業制作品・寄贈品について

委員長

本日予定していた議題は以上だが、事務局から、卒業制作品と寄贈品について、説明がある。

事務局

卒業制作品と寄贈品については、第13回統合委員会で両校の一覧を配付し意見をいただいた。学校とも相談した結果、卒業制作品と寄贈品は、写真として電子データに残し、現物は新校には持ち込まず、校舎解体時などに撤去・廃棄することとした。次号の統合委員会ニュースでもこの件について周知したい。ただ、委員から、作品として価値があるものは廃棄すべきではないといった意見も出ていたので、そういったものについては、中野区立歴史民俗資料館の学芸員に見てもらった上で、移設の調整をしていきたい。

委員長

今の説明について、何か質問・意見はあるか。

委員

歴史民俗資料館が価値があると判断したものは、歴史民俗資料館に寄贈するということがか。

事務局

そうである。展示するかは歴史民俗資料館の判断になるが、移設して、歴史民俗資料館で保管することになる。

委員

歴史民俗資料館に移設しないものは、廃棄になるのだろうか、欲しい人がいればあげるのか。
事務局

卒業制作品については、本人等から返却希望があった場合、その都度学校と相談して対応を検討するが、寄贈品は、学校へ寄贈されたものであり、学校の所有物なので、それを別の方に渡すことは考えていない。

委員

寄贈品として、西中野小学校には昔の生活で使われていたものがあったり、鷺宮小学校にはアーティストの作品があったりして、卒業生なども思い入れがあると思う。全力石や水車、樹木などを持って帰りたいという話もあるかもしれない。

事務局

樹木なども、欲しいという方がいるかもしれないが、一部の方の利益になり得るようなことはできないので、原則廃棄としている。

委員

鷺宮小学校の絵などは価値があると思われるので、個人的に鑑定に出したいと思っていただけだが、歴史民俗資料館の学芸員が見るということであれば、ちゃんと鑑定されるだろう。

委員長

最終的な判断結果については、改めて事務局のほうから説明いただくということでよろしいか。
—異議なし—

その他（２）通学路の検討について

委員長

次に、統合新校の通学路について、事務局の説明を求める。

学校再編・地域連携担当課長

前回の統合委員会で、PTAと学校に対し統合新校の通学路について検討いただくよう依頼したが、事務局としても、スクールゾーンや交通規制の確認、交通量調査等を実施したので、そういった情報を共有しながら一緒に検討していきたい。

委員長

今の説明について、何か質問・意見はあるか。

委員

通学路についてPTAから危険箇所などの説明はあったのか。まだ、区とPTAが交流したことはないのか。

学校再編・地域連携担当課長

まだである。近々、区が持っている情報も共有し、一緒に検討したい。

委員

通学路は、踏切問題もあり、みんな気にしているのに遅い。この時期にはある程度説明できているべきはないか。

委員

早めに保護者や地域の方と交流し、どれだけ不安に感じているかなど聞いた方が良い。

学校再編・地域連携担当課長

早急に区も情報共有し、一緒に検討を進めたい。

委員

具体的な時期のビジョンはあるのか。

学校再編・地域連携担当課長

踏切に民間警備員を配置するための予算の検討材料としたいため、今年6月ぐらいには実施したい。

委員長

西武鉄道が高架化か地下化かするまでは、いずれかの踏切を通らないと登校できない。児童が

安全に登校するためにも早急に進めてほしい。

その他（３）校舎新築工事の進捗等について

委員長

次に、校舎新築工事の進捗等について、事務局の説明を求める。

子ども教育施設課長

新校舎の新築工事の進捗について説明する。令和５年４月末時点で出来高５６．４％であり、計画より１カ月ほど遅れているが、令和６年４月の開校には間に合う予定である。令和５年３月２４日に北側敷地のクレーンが倒れるということがあり、けが人はなかったが、かなり大きな音が出た。クレーンを持ち上げる手順を誤ったため、転倒するに至ったと聞いている。再発防止策等を提出させ、今後このようなことがないようにしたい。

委員長

今の説明について、何か質問・意見はあるか。

委員

計画に対して進捗が遅れているというのは、材料が届かないということや天候などが理由か。

子ども教育施設課長

他校で、オリンピックのときなど材料が届かないということはあったが、今回はそういうことではなく、単純に先ほどのクレーンのトラブルなどもあり、業務が少し遅れている。ただ、一定程度余裕を持って計画しているので、最終的には期日どおりの完成を目指している。

委員

わかった。

委員長

ほかに、委員から何かあるか。

委員

今後、統合委員会で協議すべきことはなにか。

事務局

次回、校章が決まれば、刺繍校旗や校歌の作成に入るが、それらができるまで、統合委員会は休会の予定である。令和６年２月または３月の統合委員会でそれらを披露する。

委員

教育目標は誰が決めるのか。

委員

教育目標については、両校の校長と管理職が決める。明和中校区のコミュニティ・スクールとの連携や、今の時代に合った目標について考えなければいけないと思っている。子どもに分かりやすい言葉で、これからの世の中をつくっていく子どもを育てる学校というのを出したい。学校の教育目標は、一時期は変える学校も多く、決して固定ではない。時代に合ったものを両校長で話して決めていきたい。

委員長

次回の統合委員会は令和５年７月に開催予定である。本日の統合委員会はこれをもって終了する。